事例No.	1118
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	岩手県遠野市

事例区分	一般行政

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・ICT ・事務の共同実施

事例種類	森林の集積・集約化

事例内容・タイトル

間伐実施のための体制整備

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

岩手県　遠野市（間伐実施のための体制整備）

- 遠野市では、補助申請手続きの煩雑さから、私有林の間伐を実行する林業事業体は森林組合のみとなり、間伐が進まず、過密な人工林が散見される状況にある。一方、皆伐需要は高く、市内の林業事業体が行う私有林の伐採は皆伐中心となっている。そのため、私有林の間伐を実施するための体制を整備することとした。
- 令和元年度においては、以下の取組により、森林資源量調査を行った。
  - 市内11地区（11地区全てに森林経営計画（区域計画）作成済み）のうち、１地区3,600haの森林で航空レーザー計測し、森林資源量を計測した。
  - この計測結果を元に、令和２年度以降、間伐が必要な森林の抽出及び団地化を行い、対象森林の森林所有者に対して、市が森林経営計画への追加や間伐実施の意向調査を行う。森林経営計画の変更や補助申請は森林組合が行い、間伐の実行は市内林業事業体が行う形をとり、市内事業体が連携しながら森林整備を進めていく。

□ 事業内容

1　森林資源量の把握（森林整備推進事業）

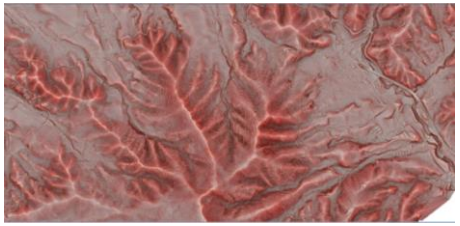
- 市内全域を網羅する形で作成されている森林計画（区域計画）に追加することを目的とした森林資源量調査及びGISの整備。前11地区のうち、令和元年度は１地区の計測を実施した。
- 具体的には、立木の単木データに加え、微地形表現図を作成したことにより、GIS内での作業道等路網の設計や搬出材積の計算が容易にできる環境になった。

【事　業　費】14,300千円（全額譲与税）

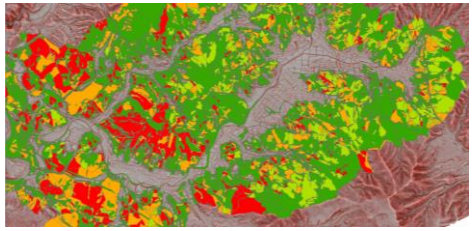
【実　　績】計測面積3,600ha

□ 事業スキーム

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
遠野 1,284ha				航空測量等 資源調査	座談会等 意向調査	間伐	→	→	→	→	→	→
綾織 3,425ha				航空測量等 資源調査	座談会等 意向調査	間伐	→	→	→	→	→	→
小友 5,913ha			航空測量等 資源調査	座談会等 意向調査	間伐	→	→	→	→	→	→	→
附馬牛 6,437ha							航空測量等 資源調査	座談会等 意向調査	間伐	→	→	→
松崎 1,913ha					航空測量等 資源調査	座談会等 意向調査	間伐	→	→	→	→	→
土淵 3,521ha					航空測量等 資源調査	座談会等 意向調査	間伐	→	→	→	→	→
青笹 1,674ha						航空測量等 資源調査	座談会等 意向調査	間伐	→	→	→	→
上郷 4,412ha						航空測量等 資源調査	座談会等 意向調査	間伐	→	→	→	→
宮守町宮守 3,577ha	航空測量等 資源調査	座談会等 意向調査	間伐	→	→	→	→	→	→	→	→	→
宮守町達曽部 3,672ha		航空測量等 資源調査	座談会等 意向調査	間伐	→	→	→	→	→	→	→	→
宮守町鱒沢 3,028ha		航空測量等 資源調査	座談会等 意向調査	間伐	→	→	→	→	→	→	→	→



（微地形表現図(既設作業道も判読可能)）



（収量比数による色分け(赤が高い)）

□ 工夫・留意した点

- 隣接する花巻市と早期に打合せを重ね、両市の隣接地を計測することとした。これにより、地上で計測する標準地を両市で共有できたため、単独に計測するよりも多くの標準地をとることができた。
- 市内の地籍調査が完了した地域から実施することで、森林所有者に対して１筆ごとの資源量を提示できるように計画した。地籍調査未了地は、後半に実施することとし、地籍調査の結果を少しでも反映させる計画とした。

◇ 基礎データ

①令和元年度譲与額	31,720千円
②私有林人工林面積（※１）	14,282ha
③林野率（※２）	82.8%
④人口（※３）	28,062人
⑤林業就業者数（※４）	192人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」